

障がい者採用案内



目次

- 3** アクセンチュアの障がい者採用の取り組みについて
- 4-5** インクルージョン&ダイバーシティ
- 6** 数字で見るアクセンチュアの強み
- 7-10** 募集職種
- 11-14** 社員インタビュー
- 15** 雇用実績のある障がい
- 16-17** 勤務地
- 18-20** 福利厚生・支援体制
- 21-22** 社内コミュニティ・活動



アクセンチュアは 世界最大級の総合コンサルティング/ ITサービス企業です

アクセンチュアは、デジタル、クラウドおよびセキュリティ領域において卓越した能力で世界をリードするプロフェッショナル サービス企業です。40を超える業界の比類のなき知見、経験と専門スキルを組み合わせ、ストラテジー&コンサルティング、テクノロジー、オペレーションズサービス、アクセンチュア ソングの領域で、世界最大の先端テクノロジーセンターとインテリジェントオペレーションセンターのネットワークを活用して提供しています。

クライアント・グループ

アクセンチュア ソング

テクノロジー コンサルティング本部

インダストリーX本部

オペレーションズ コンサルティング本部

コーポレート部門

ビジネス コンサルティング本部

各産業のエキスパート・専門知識が結集



通信・メディア・ハイテク

通信
エレクトロニクス・
ハイテク
メディア・
エンターテインメント
インターネット&
ソフトウェア



金融サービス

バンキング
キャピタル・マーケット
保険



公共サービス・医療健康

公共サービス
医療健康



製造・流通

自動車・産業機械・
建設・不動産
運輸・貨物
航空・旅行
消費財・サービス
ライフサイエンス
流通・小売り



素材・エネルギー

化学
素材
石油・天然ガス・石炭
電力・ガス・水道

私たちは、誰しものがかけがえのない個性やスキル、強みを持っていることを確信しています。
アクセンチュアは、お客様の成長や発展を支援することを生業とする中で、障がいの有無に関わらずすべての社員がそれぞれの価値を発揮し、活躍できる環境を整備しています。

執行役員 人事本部長
瀧澤 明良



障がいのある方が働きやすい環境は、誰にとっても働きやすい環境

アクセンチュアの調査(Getting to Equal 2020)によると、平等で多様性を受け入れる企業文化を実現するには、経営層自らが組織風土をよりオープンに変えていく「カルチャー・メーカー」(平等で多様性を重んじる組織に変革していく経営層)になることがカギであり、カルチャー・メーカーが率いる組織は、平均的な組織の2倍以上の速度で成長を遂げていることが分かりました。

アクセンチュアでは、徹底して差別やハラスメントを排し、一人ひとりを持つ強みを評価します。障がいのある方と仕事をする上で必要な知識習得のための研修やガイドラインも提供しています。

テクノロジーの活用で、障壁をなくす

アクセンチュアのミッションは、テクノロジーによって世界の人々の仕事と生活をより良くすること。社内でも、障がいのある社員のニーズに合わせたテクノロジーを活用しています。日々進歩する最先端のテクノロジーを使うことで、強みをさらに伸ばしたり、これまでは挑戦できなかった役割をこなすことも可能となります。たとえば、聴覚に障がいのある方が自らユーザー視点での意見を出しつつ、社内のIT専門家がAIを活用したコミュニケーションツール「TransCommunicator」を開発しました。発話内容をリアルタイムに字幕として表示する機能を備えるこのツールによって、ミーティングの場でも聴覚障がいのある社員が会話に置いていかれてしまうことなく、内容を把握することが容易となりました。

アクセンチュアでは、多様なバックグラウンドをもつ社員ひとりひとりがもたらしてくれる新たな価値を尊重し、個性や能力に応じた成長を支援します。自由な社風の中、新しいことに挑戦してみたいという方のご応募をお待ちしています。

平等の文化がイノベーションをもたらす

お客様の多種多様な課題を解決するために必要なのは、多様なバックグラウンドを持つ人材がコラボレーションし、活躍する組織・チームだとアクセンチュアは考えています。

そして実際に、早くからその重要性に着目し、採用、様々な教育研修、例えばアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)研修などを通して意識改革の推進、そしてモデルとなるキャリアあるいは働き方を実現している社員とのネットワークなど、先進的なアプローチで取り組んでいます。

企業や団体が成功を収めるためには、継続的なイノベーションが欠かせません。

イノベーションの創出には、多様な人材を集めること、そして全ての社員に対して「平等の文化」があることが重要だと言われています。

アクセンチュアが発表した調査レポート(Getting to Equal 2020)によると、平等で多様性を受け入れる企業文化を実現するには、経営層自らが組織風土をよりオープンに変えていく

「カルチャー・メーカー」(平等で多様性を重んじる組織に変革していく経営層)になることがカギであり、

カルチャー・メーカーが率いる組織は、平均的な組織の2倍以上の速度で成長を遂げていることが分かりました。

アクセンチュアのインクルージョン&ダイバーシティの基本となるのはEquality(平等)の理念です。

性別や性的指向、障がいの有無、国籍、文化的背景に関わらず、

すべての社員が活躍できる職場環境を目指し、以下の4つのセグメントで活動を推進しています。

インクルージョン&ダイバーシティ日本統括

常務執行役員

堀江 章子



障がいのある方

あらゆる社員が障がいの有無に関わらずそれぞれの価値を発揮し、活躍できる機会・環境を実現するため、ニーズに応じた支援とさまざまな活動を行っています。理解度向上やネットワークの促進を目的としたイベントや情報発信を実施しており、毎年12月には国連で定めた「国際障がい者デー」に合わせ、日本の各オフィスを中継でつないでイベントを開催しています。

LGBTIQ+

LGBTIQ+をはじめ性的マイノリティの社員が安心して活躍できる職場環境を整えるため、理解促進のための独自のコンテンツ作成やトレーニングの実施、イベントの開催を行っています。また社内だけでなく、関連イベントの協賛などを通じて社会に対しての認知・理解促進も図っています。

Well-Being

「リチャージ力の獲得」をキーワードに、変化が激しく不確実な時代においても、社員が自分自身でWell-beingな状態を築いていける環境をつくり、個の強みや個性を最大限に発揮できるよう、取り組みを行っています。

ジェンダー

日本では、2006年にJapan Women's Initiatives (現: Gender equality Committee)を発足。この活動は、所属や役職を越えた社内横断組織により企画・実行されており、女性社員が最大限の能力を発揮して活躍できるよう、経営・人事・現場が一体となりさまざまな活動に取り組んでいます。現在は、女性の採用強化(Attract)や継続意欲の維持・向上(Retain)だけではなく、女性リーダーを継続的に輩出していくこと(Advance)を目指しています。

クロスカルチャー

異文化における働き方を理解し合い、その多様性を活用していくことは、グローバルネットワークで有機的に協働するアクセンチュアが培ってきた独自の仕事の進め方です。さらに啓蒙イベントやトレーニングの実施、社員同士のネットワーキング促進にも積極的に取り組んでいます。



巨大なグローバル企業

アクセンチュア日本の従業員数

23,000人
(2023年12月現在)

グローバルグループ全体の従業員数

約**743,000**人
(2023年12月現在)

世界のビジネス拠点数

49カ国
200都市以上

売上は堅調に成長中

641億USドル

2023年会計年度: グローバルグループ全体売上高

アクセンチュア日本は

10期連続**2**桁成長

優良なお客様企業の ビジネスパートナーとして

誰もが知っている企業や組織の支援に関わっています。

* 米「フォーチュン」誌発表

89社
私たちのお客様



お客様のビジネスパートナーとして長期的な成果創出、
そして次の課題解決へと歩みを進めていくことが私たちの
誇りです

99社
10年以上の継続取引



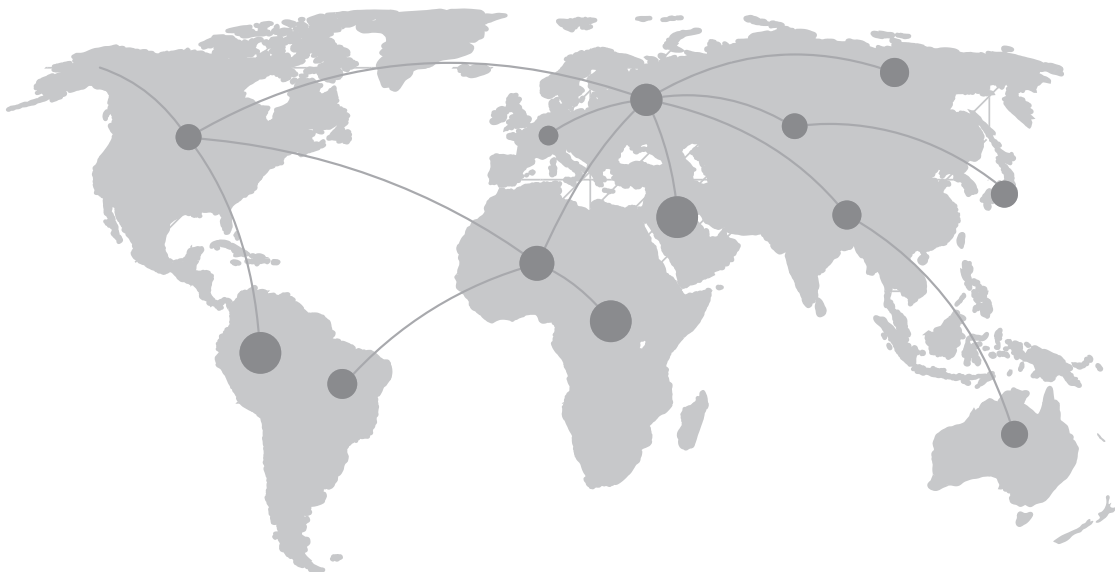
創業

グローバル

1953年

日本(事務所開設)

1962年



現在募集している職種はこちら



軽作業/一般庶務

職務内容 ※適性に応じて業務内容を検討いたします。オフィス清掃・消毒、机や椅子の整理、文房具等の補充、コピー・スキャニング・ファイリング、捺印、PC を利用した事務処理業務 等

応募要件 軽作業が可能な方

一般事務

職務内容

1) コーポレート部門アシスタント：
コーポレート部門の各部署（秘書、健康推進室、採用、福利厚生、労務、入退社手続き、CC 推進室など）における事務業務。業務例：データ入力・集計・レポート、コピー・スキャン、会議の日程調整、経費処理、証明書発行、問い合わせ対応 等

2) プロジェクト管理業務サポート：
お客様企業向けの各プロジェクトの後方支援チームにおける事務業務。業務例：各種の申請手続き、資料作成、経費処理、勤怠データ管理、要員データ管理、データの集計 等

3) サテライト：
社内の各部署から依頼された事務・庶務業務。業務例：データ入力、経費処理、リサーチ、データ集計・分析・レポート、資料のマスキング、翻訳、WEB ページ制作、動画編集、業務の自動化開発 等

応募要件 PC の基本操作（メール、Excel、Word、PowerPoint）が可能な方

ソリューション・エンジニア(第二新卒・未経験歓迎)

職務内容 お客様企業の課題を解決するシステム企画・開発を担い、事業変革からその実行まで行います。具体的には、基幹系および情報系の業務システムのアプリケーションに関する要件定義、設計、構築、テスト、開発、保守、運用などを担当します。

応募要件 システム開発・保守・運用経験をお持ちの方（言語・プラットフォーム不問）
※第二新卒・未経験の方も歓迎/数か月間のトレーニングあり。

選考の流れ



- ・面接回数は変動する可能性があります。
- ・応募を希望する場合は、以下の宛先まで応募書類（履歴書・職務経歴書）を送付してください。

応募書類の宛先 アクセンチュア株式会社 人事本部 障がい者採用担当
JPN_PwD_RTG@accenture.com
業務遂行上の配慮事項等確認のため、応募書類に障害者手帳の種別および障がい状況や配慮事項等を可能な範囲でご記入ください。

採用サイト <https://www.accenture.com/jp-ja/careers/local/pwd>



勤務地



※アクセンチュアサテライト

「生麦、立川、横浜、みなとみらい、中津にあるサテライトでは、データ入力、経費処理代行、リサーチ業務、データ集計・分析、WEB・IT 関連業務など、アクセンチュアのビジネス全体を支える事務サポート業務を担っています。スーパーバイザー、常駐支援員のアシスト体制の下、多様な個性を持つ方々が安心して能力を発揮できるよう、それぞれの障がいの特性に配慮したオフィス環境を用意しています」

下田農園 千葉県千葉市 上尾農園 埼玉県上尾市

障がい者雇用の支援、安全な食料の提供による農福連携・農商工連携を推進している「株式会社ビズメイト」と連携し、水耕栽培の野菜の生産に取り組んでいます。

海老名農園 神奈川県海老名市 藤沢農園 神奈川県藤沢市

障がい者雇用の支援する「スタートライン」と連携し、天候の影響を受けにくい屋内型農園で、葉物野菜やハーブ等の栽培と、ハーブティなどへの二次加工を行っています。

未経験からチャレンジできる ソリューション・エンジニア

～アクセンチュアでエンジニアのキャリアを目指しませんか～

テクノロジーのリーディングカンパニーであるアクセンチュアでは、エンジニアとして活躍する障がいのある方の雇用拡大を目的として、未経験からエンジニアを目指す障がいのある方の採用・育成をおこなっています。数か月間のトレーニングを通して、ビジネスやテクノロジーの基礎から実践的なスキルを学ぶことができます。トレーニング後は、障がいへの配慮のもとで、自社向けやお客様企業向けの開発案件を担当しながら、エンジニアとしての継続的にキャリアアップできる環境です。

入社後トレーニングの特徴

テクノロジーの基礎から学べる数か月のトレーニングで、 実務に生かせる知識とスキルが身につく

入社後は、数か月間のエンジニア育成トレーニングに参加していただきます。
論理的思考、タスク管理、Excel 基礎等、IT スキル以外のビジネス基礎スキルを学ぶトレーニングの他、あらゆる業務の基盤となるテクノロジーの基本概念や知識に加えて、プログラミング・データベース・インフラ、等のテクノロジースキルの基礎を学びます。設計からテストまで、開発工程を一気通貫で体験することによって実業務に活かせる基礎知識・スキルを体得することができます。

テクノロジー系の研修は通常の約 1.5 倍の期間をかけて、確実なスキルの習得をサポートしています。トレーニングでは、同時期に入社した同僚 5 名程度で一つのチームを作り、お互いに協力しあいながらトレーニングを進めます。



サテライトのご紹介

～安定就労とスキルアップが両立できる環境～

アクセンチュアサテライトでは、障がいのある社員が安心して働きながら、個々の能力を発揮できる職場環境を目指して運営しています。「サポート体制のもとで安定的に働きたい」「スキルを活かしながら継続的にスキルアップしたい」「専門的な業務に未経験からチャレンジしたい」「リーダーの仕事をしてみたい」などの希望をお持ちの方におすすめです。

■安心して働くことができる制度・支援体制を整えています。

<安定就労をアシストする支援体制>

- ・常駐支援員との定期的な面談により、日常生活や働く上での悩みことなどを相談することができます。支援機関を利用されている場合は支援員との定着面談の調整をおこないます。
- ・業務スーパーバイザーが、丁寧な指導により立ち上がりをサポートします。業務上の不明点や困りごとをいつでも相談することができます。

<個々に応じた合理的配慮を調整します>

- ・全ての業務にマニュアルを完備
- ・残業時間への配慮（基本的に残業なし）
- ・短日短時間勤務（1日6時間×5日間など）
- ・定期通院サポート（障害者手帳に関連した定期通院にかかった時間が有給となる制度）
- ・在宅勤務（条件あり）
- ・休憩スペース 他

■各々の能力を発揮しながら活躍できる幅広い業務があります。

定型的な事務作業の他、データ分析、Web ページ制作、翻訳、RPA などの幅広い業務があります。ご自身の適性や、保有スキル、スキルアップのご希望を考慮に入れ、ご担当いただく業務をアレンジしています。

※サテライトの拠点によって業務内容が異なります。

■業務に生かせるトレーニングとチャレンジによりスキルアップを目指します。

アクセンチュア独自の 24,000 コース以上のオンライントレーニングのほか、外部のトレーニングを導入しています。これらの数あるトレーニングによって業務に生かせるスキルを身に着けることができます。



「ものづくり」は面白い仕事。 理想的なITシステムを創りたい

Tomohisa Y.

ソリューション・エンジニア | 東京オフィス
視覚障がい

私は会計士志望でしたが疾患による闘病を経験し、システム開発者へキャリアチェンジしました。現在は「会計の知識×ITシステム」で経験を積みソリューション・エンジニアとしてグローバル企業のシステム運用の支援プロジェクトを担当しています。「ものづくり」に携わるエンジニアとして、理想的なITシステムを生み出すために研鑽する日々です。私はAmericas市場の担当として、お客様本社の方々とやりとりするほか、現地社員の方々と時折英語のメールでコミュニケーションし、システム関連のサポートを行っています。

アクセンチュアは1人ひとりが最大限にパフォーマンスを発揮できるような職場環境と一緒に考えてくれる組織です。混雑を避けた通勤が可能なように出社時間の調整など、フィジカルな面で融通をきかせてくれます。受け身にならず、「自分は何ができるのか」「何が苦手・できないのか」を明確にすることが重要です。



未経験からエンジニアのキャリアに チャレンジ。体調にあわせて短時間 勤務からスタートした社会人生活。

Mao H.

ソリューション・エンジニア | 東京ソリューションセンター
社会不安障がい

大学4年の就職活動中に社会不安障がいを発症し、いったん就職活動をストップ。アクセンチュアは未経験の人もエンジニアとして積極的に採用していることを知り、入社を決意しました。現在はソリューション・エンジニアとして、おもに社内研修用アプリケーションの開発と、チームの進捗管理システムの開発を行っています。

入社当初、障がいを抱えながら安定して勤務できるかどうかと、不安がありましたが、アクセンチュアでは業務や体調、配慮してほしいことなどを気軽に相談できる環境があります。実際、私は1日6時間勤務からスタートし、少しずつ時間を延ばして、現在は7時間勤務に。次の1年では1日8時間勤務を目標にしています。私にとっては初めての就職先がアクセンチュアでしたが、働いていく中で困ったことや予期せぬ問題が起きたときに、すぐに周囲の方に相談できる環境が整っており、安心して働くことができます。





社内郵便物の管理を担当。 気軽に相談できる社員のおかげで、 ポジティブに働ける

Maki H.

オペレーションズ コンサルティング本部所属 |
アクセント・インテリジェント・オペレーションセンター熊本
左半身麻痺(身体障がい)

「新しい仕事にチャレンジしてみたい」と考えてアクセントに入社し、現在は社内で個人宛の郵便物の配布や新入社員に関するデータの申請業務を担当しています。また、社外へ発送する郵便物の取り扱いや社内便発送も私の担当です。この仕事は時間との勝負ですが、はじめは時間調整がうまくできず慌ててしまうこともありました。今は、早め早めの準備を心がけるようにしています。

新入社員も増え、私は徐々に新人メンバーへ仕事を教えて一緒に働く立場になりつつあります。将来的には、後輩社員に仕事を教えるリーダー役へと成長したいと考えています。

仕事では失敗して気落ちすることもありますが、いつもランチを一緒にしながら気軽に相談できる人が社内にいるので、気持ちを溜め込まないようにできています。子育て支援の制度などを活用している社員も多く、女性にとって働きやすい環境だと思っています。



役員と「さん」付けで呼び合う フラットで人間味あふれる職場

Susumu K.

総務部 | 東京オフィス
身体(下肢)障がい

私は役員の秘書や社長秘書のサポートとして、スケジュール管理や出張時のドライバー手配、資料作成を担当しています。秘書は担当する役員の意図や考えを汲み、先回り対応することで高い価値を出せる職種です。「ありがとう」などの言葉をいただける機会が日々あり、仕事は楽しく、うれしいことも多くあります。

入社前、外資系は「人間関係がドライ」と想像していましたが、面接で私の話に親身になって耳を傾けてくれるなど、イメージが良い方向へ変えました。入社後も人間関係はフラットで温かく、役員とも「さん」付けで呼び合うなど、人間味にあふれています。アクセントでは、どんな小さな仕事でも関係する誰かが必ず見ていて、丁寧な仕事ぶりや真面目な対応をすることで高い評価につながります。だからこそ「指示待ち」にならず、自発的に動いたり、提案できたりする「セルフスターター」型の人は活躍の場がどんどん広がっていく職場です。





「障がいのある人だから」ではなく 貴重な人材だから」採用されている

Azumi Y.

サテライトチームリーダー | 人事本部 | サテライト生麦
パニック障害・不安障害

ライフイベントをきっかけに海外へ移住しましたが、移住による環境の変化や言語の壁、キャリアアップの道が少ないといったストレスからパニック障がい・不安障がいを発症しました。帰国後、障がいをオープンにした上で安心して働ける環境でキャリアアップを目指したく、アクセンチュアに入社しました。現在は、3人のメンバーのグループリーダーを務めており、コンサルタントの方をサポートするリサーチ関連の業務を行ったり、社内メディア記事作成の手伝いなどにも携わったりしています。

アクセンチュアは障がい者を採用する義務があるから、ではなく、「貴重な人材だから」採用しているという会社の意向を入社後に確信しました。また、自分からやりたいという意思表示をする人が歓迎される環境です。障がいがあっても、積極的にキャリアアップを目指したい向上心のある方にはとてもお勧めです。



社員に 「ほっこりできる時間」を提供する カフェ業務を担当

Akinori S.

総務部 | みなとみらいオフィス
聴覚障がい

外資系コーヒーチェーンやCDショップで接客業を幅広く経験し、PCスキルを深めたという志望動機と「社内カフェ(コーヒーサーバーなどの管理)」担当ロールに興味をもち、入社しました。カフェ業務を通じて、社員に「ほっこりできる時間」を提供しています。コーヒーサーバーなどの機器のメンテナンスのほか、資材・消耗品の発注・補充などが主な仕事ですが、関連資料の作成や発注業務などPCを使う仕事もあり、スキルアップにつながっています。

私は聴覚障がいをもっているため、手話を日常的に使っています。週替わりで「手話ミニ講座」をカフェに掲示したことで、多くの社員に関心を持ってもらえました。業務に関する重要事項ではメールと筆談を使い、確実かつ丁寧なコミュニケーションを心がけています。アクセンチュアは「ありのままの自分」を出すことでどんどん打ち解け、働きやすくなる職場です。





苦手なことを得意な人がサポート することが当たり前のカルチャー

Momoko K.

サテライトチームリーダー | 人事本部 | サテライト横浜
精神・発達障がい(双極性障がい・ADHD)

前職では化粧品会社の工場製造スタッフや接客スタッフなどを経験。障がいの診断が
おりたことを機にアクセンチュアへ転職しました。現在は、サテライトのチームリーダー
としてチーム管理の他、実際のオペレーション作業を担当しています。リーダー職にはま
だ慣れない点も多いのですが、日頃からチーム内へのフィードバックを重要視しており、
各々が積極的に声を上げられるような風通しの良いチームとなるよう心掛けています。

サテライトの社員は全員が障がいが者採用ですが、設立当時から「得意・不得意があって
当たり前、特性上苦手なことは得意な社員が対応する」といった社員同士が互いに
フォローし合う考え方が自然と浸透していますし、「やりたい!」と思ったときに「どうす
れば実現するのか」を一緒に考えてくれる上司や同僚がいます。やりたいことがある方
はもちろん、働きながらやりたいことを見つけていきたい、といった方にもぜひお勧めし
たい職場です。



英語、会計、PC。 積極的コミュニケーションで 未経験の仕事も前向きに挑戦

Shunsuke T.

オペレーションズ コンサルティング本部所属 |
アクセンチュア・インテリジェント・オペレーションセンター熊本
脳性麻痺

私はアクセンチュア・インテリジェント・オペレーションセンター熊本で海外から届く請
求書を精査し、会計システムに記載された金額と食い違いがないかをチェックする仕
事を担当しています。海外からの書類なので、全て英語です。英語、会計、PC操作につ
いて「新しいことを勉強しながら、チャレンジしていくんだ」と日々新しいことを覚えなが
ら取り組んでいます。世界中とつながっている仕事なので面白いです。

チームメンバーは多様性に富んでいて、私と同じように障がいをもちの方も活躍して
います。コミュニケーションが活発で、急な体調変化でお休みをいただくことになっても
連絡しあって誰かが代理で対応するなど、相互にカバーしあえる環境です。通勤はバス
で1時間以上と長いのですが、この働きやすさがなければ続いていたかたかもしれません。
いまの自分は、まだまだ「修行中の身」ですが、いずれは後輩の指導もできるリー
ダーへのステップアップが目標です。



雇用実績のある障がい

身体障がい

心臓機能障がい、腎臓機能障がい、体幹機能障がい、
上・下肢機能障がい、膀胱直腸機能障がい、
両下肢機能障がい、左片・両下肢麻痺、視野障がい、
聴覚障がい

発達障がい

広汎性発達障がい、自閉症、アスペルガー症候群、
注意欠陥多動性障がい、注意欠陥障がい、
トゥレット症候群

精神障がい

双極性障がい、うつ病、統合失調症、気分変調症、
社会不安性障がい、てんかん、高次脳機能障がい

知的障がい

知的障がい





福利厚生

通勤手当（規定あり）、社保完備、時間外手当・深夜時間帯勤務手当・出張手当、
カフェテリアプラン（アクセンチュア健保）、会員制の各種サービス優遇 / 割引制度、確定拠出年金制度

休日休暇

年次有給休暇、私傷病休暇、ボランティア休暇、母体保護休暇、出産休暇、配偶者 / ライフパートナー
出産休暇、介護休暇、子の看護休暇等、私傷病休職、育児休業、介護休業等

支援体制

スーパーバイザー

配属先では必ずスーパーバイザーがつきます。

健康推進室 産業医・保健師

産業医・保健師に、健康面について相談ができます（予約制）。

人事本部担当窓口

入社前の配属先との調整や、入社後に業務実施にかかるあらゆる相談を受ける等の必要な支援を行う人事担当窓口があります。

ジョブコーチ

障がいのある社員が職場にうまく定着できるよう、障がい特性に関する専門知識を有するジョブコーチが、配属先や社員本人に対して必要なサポートを行います。

社外カウンセラー

社外にカウンセラーを契約しており、無料で制度をご利用いただけます。





サテライト



東京ソリューションセンター



みなとみらいオフィス



東京ソリューションセンター



関西オフィス



アクセント・インテリジェント・
オペレーションセンター熊本



アクセント・イノベーションセンター福島



アクセント・イノベーションセンター北海道



下田農園



下田農園

職場環境・配慮

出勤・勤務時間の配慮
(短日短時間勤務・時差出勤)

定期通院サポート制度

多目的トイレ

在宅勤務 ※会社規定による

自動車通勤 (条件有)

休憩部屋 (First Aid Room)

TransCommunicator



車椅子の方でも使いやすい位置に自動ドアのセンサーを設置しています。



災害時・非常時にイーバックチェア（階段避難車）を設置しています。

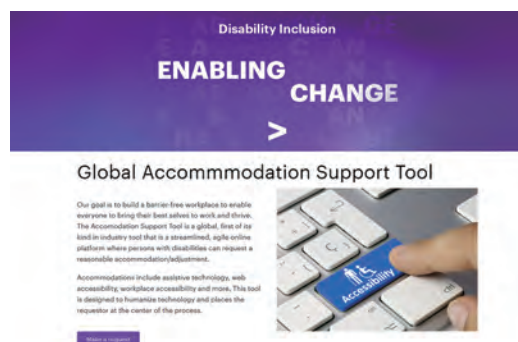


具合が悪くなった時にご利用いただける休憩部屋(First Aid Room)があります。



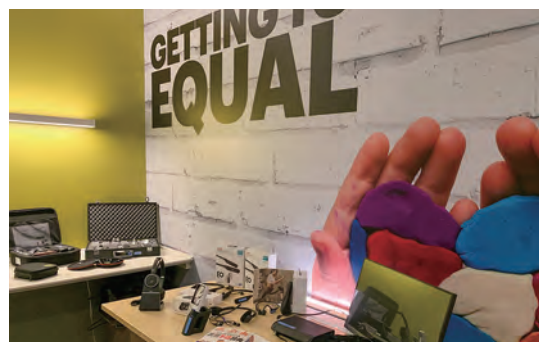
「聴覚障がいのある方の抱える課題を解決すべく、AIを活用したコミュニケーションツール「TransCommunicator」を自社開発し、社内への導入をしています。現在は日本語だけでなくマルチランゲージにも対応しています。」

Accommodation/ Adjustment Request Tool (合理的配慮リクエストツール)



アクセントゥアは障壁のないインクルーシブな職場環境を保証する取り組みに注力しています。ARTはアクセシビリティの向上、情報格差の解消、および障がいを持つ社員等の機会の創出に役立つもので、そのサポート範囲は、Technologyサポート、Webアクセシビリティ、職場の設備、人事制度など多岐に渡ります。本人もしくは関係者が、このツールを通して簡単に職場環境の改善等をリクエストできます。

Accessibility Center



東京オフィス 赤坂インターシティ13Fには様々な障がいのある社員のニーズに応えるツールやテクノロジーを試すことができる専用のスペースも備えています。

アクセントでは 障がいのある方 (PwD: Persons with Disabilities) を サポートするためのさまざまな活動が 自主的に行われています

PwD Committee

障がいのある社員が活躍するインクルーシブな職場づくりを目指して活動する有志社員グループです。このグループには障がいの有無に関係なく、関心/思いのある社員は誰でも参加できます。

社内の各部署と連携して就業環境上の課題を集約、課題解決に向けた企画発案と実行

社員の理解向上のため、パラアスリートなど外部ゲストを招いた講演会、ヨーロッパ発祥のスポーツ「ボッチャ」を体験できるボッチャ大会などのイベント開催

PwDに関わる各種情報発信媒体の企画・運営

AIをはじめとするテクノロジーと創意工夫による Disability Inclusionの促進



ボッチャ大会

手話サークル

毎月2回ランチタイムに和気あいあいと手話を学んでいます。オフィスが異なるメンバーともテレビ会議システムを使って、一緒に手話を学び、コミュニケーションアップを目指して楽しく取り組んでいます。

PwD Network (通称Pnet)

オンラインでのランチ会など、障がいのある社員同士の交流の場を設け情報交換やさまざまな意見を共有しています。当事者観点での要望、提案などから職場環境の改善が行われ、さらに活躍できる働きやすい環境づくりへ貢献をしています。



点字カーペット

また、様々な障がいへの理解促進のためのリーフレット作成、ミニ手話動画作成・配信など社内に向けた啓蒙活動を行っています。




アクセントゥアの詳細は www.accenture.com を、
アクセントゥア株式会社の詳細は www.accenture.com/jp をご覧ください。

日本


グローバル・グループ

名称	アクセントゥア株式会社 (Accenture Japan Ltd)	Accenture
所在地	東京都港区赤坂<本社機能>	世界49カ国200都市
創業	1962年	1953年
設立	1995年	1989年
代表者	代表取締役社長 江川 昌史	最高経営責任者 ジュリー・スウィート

Stay connected

 <https://www.facebook.com/Accenture.Japan>

 <https://www.linkedin.com/company/accenture-japan/>

 <https://www.youtube.com/user/AccentureJP>